

「田之浦小学校の田之浦山宮神社神楽舞伝承活動の取組」

1. 学校名	志布志市立田之浦小学校
2. 学年・人数	小学1年生から6年生（計18人）
3. 日時・場所	令和7年8月2日（土） 田之浦山宮神社夏祭り 田之浦ふるさと交流館 令和7年11月8日（土） 創立150周年記念式典 田之浦小学校 令和8年2月1日（日） ダゴ祭り 田之浦山宮神社（予定）
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	(1) 名称 田之浦山宮神社神楽舞（たのうらやまみやじんじゃかぐらまい） (2) 由来 田之浦山宮神社神楽舞は、ダゴの奉納とともに古くから行われてきた春祭の行事で、昭和17年の奉納を最後に長い間途絶えていた。昭和57年に神楽保存会が組織され、翌58年2月の春祭に神舞が復活し、12段が奉納された。校区の方々へ披露するために集落持ち回りの夜神楽を行っていたが、平成10年から、25段の舞を2年に1度の夜神楽で奉納している。ダゴ祭りの際には、田之浦山宮神社特設ステージで奉納している。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	神舞は構成等が多種多様で、現在は保存会を中心とした取組になっている。児童生徒、保護者を含め学校や地域の協力のもと、地域ぐるみで実施されており、地域の方々から温かい励ましの言葉を掛けていただいている。現在、校区外から通学する特認校生も重要な担い手として活躍している。また、保護者も子供神楽の活動に積極的に協力し、衣装の着付け等も保存会の方々と共に行っている。2年に一度の夜神楽は、午後4時から午後10時頃まで行われるため、夜食の準備等についても地域ぐるみで行っている。 ダゴ祭りの準備では、教育課程に位置付けて、児童が高齢者の方々の指導を受けて竹串（ひらひら）作りとダゴ作りを行い、ダゴ花を作成している。
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	【夏休みの練習の様子】 【田之浦山宮神社夏祭りでの神楽披露】
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	【児童】 ・ 子供神楽の披露は緊張するが、みんなに見てもらいたと思って、一生懸命だった。 ・ 小学校最後の夏祭りでの神楽発表を楽しめた。頑張ってきた姿を見せられたと思う。 【保護者】 ・ 地域の伝統文化を継承するという貴重な経験を通して、子供たちが大きく成長している。 ・ 神楽の伝承活動を通して、協調性が育まれ、友達との関係も深まった。